

この度は、イーグル模型取り扱いのマイクロGTをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。

この日本語説明書と英文マニュアルをお読み頂きよくご理解された上でお使いください。  
マイクロGTは1/18から1/24サイズのRCカー用に開発された最新ハイパワーアンプです。ノバック社の最新テクノロジーを盛り込み4-7CELL、540サイズモーターまで対応出来ます。そしてサーボ用出力には5.0V0.5Aのレギュレーター (BEC)を内蔵しコンパクトながら超高出力を実現致しました。また従来のノバック製品同様、ワンタッチセットアップボタンは送信機の設定にかかわらず簡単に初期設定ができ、スマート・ブレーキ機能は他のユニットに対する負担と発熱を最小限に抑えます。

### スペック

入力電圧4-7セル (12VDC/cell)  
ケースサイズ28.4 X 24.1 X 12.1mm  
アンプ重量14.4g  
オン抵抗0.00056オーム  
連続最大電流450A  
連続最小電流150A  
周波数1000Hz  
オーバーロードプロテクション 温度感知  
BEC電圧 & 電流5.0V/0.5A  
バッテリー & モーターコネクタ MINI-T type  
モーターサイズ 540 (ノーマル) 以下

### ☆使用上の注意

- ◎マイクロGTは水や水分をきらいませ。故障の原因となりますので気を付けてください。
- ◎バッテリーの接続極性には十分お気を付けてください。
- ◎使用時には、必ず送信機側より電源を入れ次にアンプを入れます。切る時は逆にアンプから先に切ります。
- ◎モーターは無負荷の540 (55T)サイズまで回す事が出来ますが、280、300モーターで1/18より小さいRCカーに使用してください。(極度にモデファイドした物や著しくコンディションが悪い物には使用不可)
- ◎バッテリーは4-7CELLで使用してください。
- ◎極性を間違えない様に配線してください。
- ◎ショックキ・ダイオードは使用しないでください。
- ◎使用しないときは常にコネクタを外してください。
- ◎ターミナル部でのショートに気を付けてください。

### ◇特徴

- ◎低電圧コントロール回路は2Vまで制御可能
- ◎受信優先回路はバッテリーの電圧が負荷によって一時的に低下した場合でも受信器とサーボへの送電を維持します。
- ◎通電性のよいソルダーポストはコードも簡単に取り付けられます。

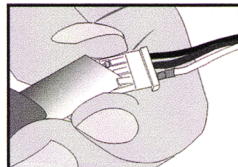
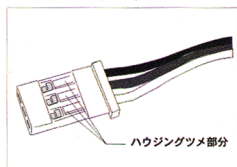
付属品 モーターキャパシター、 両面テープ

### ◇受信障害

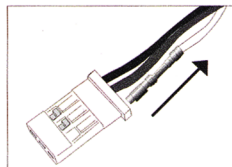
- § 受信器のアンテナは短く切らずにアンテナポスト又はアンテナパイプで正しく取り付けます。
- § モーターコミュニテーターやブラシのコンディションが悪くても同じようにノイズの原因となります。

### 新型サーボワイヤーのコネクタ・ピンの交換方法

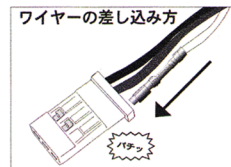
#### ワイヤーの引き抜き方《図.3》



1.引き抜きたいワイヤーのハウジングのツメ部分をカッターの刃などを用いて持ち上げます。(この時、ツメを折らないように注意してください。)

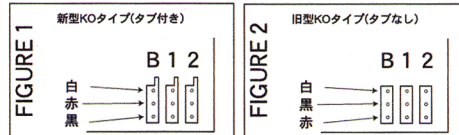


2.ツメ部分を持ち上げたままワイヤーを引き抜きます。



3.上図のようにコネクタをしっかりと差し込みます。(逆接はとても危険です。故障の原因となりますのでよくご確認ください。)

### STEP.1



### STEP:1

マイクロGTの受信器ワイヤーが使用するレシーバーと同じ極性になっているかご確認ください。もしも、違っている場合はSTEP.1の図を参考に正しく極性の順番を入れ替えてください。  
 新型サーボワイヤーのコネクタ・ピンの交換方法  
 \*フタバへはそのまま使用できますが、サンワ又はKOの旧型受信器には極性が現在と違うものがあります。プロポ側の説明書と共によくご確認ください。

### STEP.2 装着方法

- 1) 最適な装着箇所とはパワーワイヤーがTバーやサスペンションなど可動箇所干渉しない場所のことです。マイクロGTに風が通る様に装着することで過熱を防ぎ効率のよい送電ができます。
- 2) マイクロGTは両面テープで装着してください。
- 3) 受信器はアンプ、モーター、パワーワイヤー、バッテリー、サーボなどからなるべく離してください。と言っても1/18~1/24カーでは限界がありますので、それぞれを積み重ねなければいけません。またアンテナポストと受信器はなるべく近い位置に装着しアンテナを短く切らずに立ち上げてください。

### STEP.3 接続方法

- 1) モーターキャパシターの取り付けモーターには必ず純正のノイズキラーキャパシターを3つ (0.1マイクロ・ファラッド) 取り付けなければなりません。これはモーターからのノイズを押さえ正常な送受信を行うためです。(STEP.3の写真を参考に正しくハンダ付けしてください。)  
3つのキャパシターはそれぞれ下記の場所に接続してください。  
モーター・プラスタブとカンアース、  
モーター・マイナスタブとカンアース、  
モーター・プラスタブとモーター・マイナスタブ
- 2) ショッキキ・ダイオードは使用しないでください。アンプ (マイクロGT) が壊れます。
- 3) レシーバーワイヤーの極性を今一度ご確認ください。
- 4) 赤いコネクタ側に4-7CELLのバッテリーを極性に注意して接続してください。(STEP.2の写真)
- 5) 黄色いコネクタ側に極性に注意してモーターを接続してください。(STEP.2の写真)

### STEP.4 送信機セット

- 1) フル・スロットルの調整ボリュームは最大にセットしてください。
- 2) フル・ブレーキの調整ボリュームは最大にセットしてください。
- 3) フル・スロットルのパワーカーブは0にセットしてください。
- 4) 送信機のリバーススイッチはどちらでもかまいません。
- 5) スロットルのトリムは中央にしてください。
- 6) トリガーの電子切れ角調整は70%前進 : 30%ブレーキにセットしてください。
- 7) トリガーの機械的切れ角調整も70%前進 : 30%ブレーキにセットしてください。

### STEP.5 アンプのセット方法

- 1) 送信機のスイッチをオンにします。そしてアンプのスイッチをオンにします。
- 2) ~6)送信機のトリガーをニュートラルポジションにセットしワンタッチセットアップ・ボタンを押し続けます。約3秒後に赤のLEDランプが点灯したら、ボタンを素早くはなします。と同時にトリガーを最高速ポジションにします。緑のLEDが点灯したら、次にトリガーを最大ブレーキポジションにすることで緑のLEDが点滅に変わります。そして、トリガーをはなすと赤のLEDランプ点灯にもどりセットが完了します。  
§ この時、始めにセットアップ・ボタンを長く押し続けると自動的に緑のLEDが点灯しセットができなくなります。再度やり直してください。